

～海鳴り遙かに～

上高だより

平成30年8月31日 金曜日
第5号



長崎県立上五島高等学校
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTO HIGH SCHOOL



レンガの壁

校長 原 昌紀

上高生にとって忙しかった夏休みも終わり、9月を迎えようとしています。実りの2学期を迎えるために、この夏、暑くきつい思いをしながらも頑張った生徒も多かったのではないのでしょうか。また、間近に迫った体育祭に向けて、どの団も一致団結して練習や準備を進めているところです。

ところで、陸上短距離界では、昨年9月に桐生祥秀選手が日本人で初めて100mで、10秒の壁を突破する9秒98を記録し、日本中を沸かせました。桐生選手のライバルで、それまで9秒99の記録を持っていた中国の蘇炳添選手は、負けじと今年6月に9秒91のアジアタイ記録を樹立したところです。アジアの選手が好記録をマークすることで、これに続く日本の選手も出るだろうと期待されています。陸上界において、突破口的記録が出ればそれに続く選手を呼び起こすことは、しばしばある話ですが、中でも有名なのが、20世紀前半に打ち立てられた1マイル（約1609m）走の記録です。日本ではあまり馴染みがありませんが、ヨーロッパでは人気のこの競技において、越えられない「4分の壁」が長い間存在していたのです。それは、「brick wall（レンガの壁）」と呼ばれ、エベレスト登頂や南極点到達よりも難しい、超えられないものと考えられていました。この壁が出現したのが1923年。フィンランドのパーヴォ・ヌルミ選手が1マイル、4分10秒3の記録を樹立しました。当時この記録は驚異的なもので、専門家たちは「人間の能力ではこれが限界。無謀な挑戦は命を落とす危険性まである」とさえ断言したのです。その後、やっとの思いでイギリスのロジャー・バナスター選手が3分59秒4という大記録を打ち出したのが1954年。31年という時間を要した後でした。ところが、この新記録樹立のわずか46日後にはオーストラリアのジョン・ランディ選手が3分58秒0を叩き出します。しかも、その後1年のうちに37人のランナーが、翌年には300人が4分の壁を破り、31年間、誰も越えられなかった「レンガの壁」は跡形もなく粉碎されたのです。

脳科学では「身体の限界よりも脳の限界の方が先にくる」というのが定説があります。人が発揮できるのは持てる力の約70%、肉体というより脳がリミッターをつくるのです。そのリミッターを外すには、脳に結果を予想させないことが大事だそうです。つまり、「今回も無理だろうな」と脳が少しでも思った瞬間、壁は絶対に越えられないものになります。バナスター選手は、2000年に「ライフ」誌が選出した「この1000年で最も重要な功績を残した人物100人」の中にただ一人、陸上競技から選ばれています。それはタイム的な偉大さ以上に、人間が自ら築いてしまう心のレンガの壁を破ったことによるものだと思います。

現在、陸上界の中距離・長距離ではケニアの選手が活躍しています。興味深いのはケニアのトップアスリートのほとんどが、人口25万人の地方都市エルドレッドと、そこに隣接するわずか4千人のイテンの2カ所から集中的に輩出されているということです。地形などトレーニングに最適な環境にあるという面もありますが、それ以上に、驚異的な記録を持つ人が身近にいることだけで、「自分にもできる」という根拠なき自信を皆がもつようになり、それが結果に結びついていると分析されています。イテンの町の入り口には、「Home of Champions」と書かれたゲートが掛かっているそうです。

上高も、自らレンガの壁を壊し、前向きに頑張る集団でありたいと思います。

■ 1学年より

～「慣れる」1学期から「高める」2学期へ～

長いようで短かった夏季休業期間も終わり、いよいよ2学期が始まります。67回生107名が、夏季休業中に大きな事件・事故にあうことなく、2学期の始業式を迎えることができることを、喜ばしく思います。

さて、21日の学年集会でも話をしましたが、1学期の67回生のキーワードが「慣れる」だったのに対し、2学期は「高める」を学年のキーワードに設定しました。高校入学から5ヶ月が経過し、高校生活にもすっかり慣れてきたことと思います。この“慣れ”が“ダレ”に変わらないためには、次の段階に進もうという姿勢が必要です。授業も部活動も家庭学習も、1学期の自分よりも“高める”意識を持って日々を過ごしてもらいたいと思います。2学期は体育祭、橄欖祭の2大行事も実施されます。67回生にとってははじめて経験する大きな学校行事になりますが、こういった行事に一人ひとりが積極的に関わっていく中で、クラスの連帯感やクラスメイトとの信頼感が育まれていきます。2学期は、各クラスの絆もグッと高める学期にしてもらいたいと思います。

■ 2学年より

夏季休業中は多くの部活動で大会等が行われていたようです。中でも佐世保地区高等学校新人陸上競技大会では女子ハンマー投げで2年3組の川野 夏波さん、男子5000mと3000mSCでは2年4組の瀬戸 幸晟くんが見事、優勝しました。オリンピックやアジア大会なら金メダルです。素晴らしい活躍です。9月以降も新人戦や秋季大会が控えています。多くの部活動で66回生が成果をあげてくれることを楽しみにしましょう。

2学期は体育祭、橄欖祭、地域探究発表会など学校行事が多く実施されます。これらの行事の成功には一人ひとりの生徒の「コミット」する力が欠かせません。「コミット」の意味は先日学年集会で確認済みです。是非お子様にご確認ください。

■ 3学年より

～就職試験迫る！！～

皆さんにとって、就職試験・入学試験は多くの中から受験先を選択し、厳しい倍率を勝ち抜かなければならない人生における初めての試練ではないでしょうか。しかし、社会に出れば、競争は当たり前。挫折も多々あります。いつまでも守られてばかりでは自活していきません。進路実現へ向けての取り組みを機会に、一層しなやかに強く逞しく頼もしく成長していくことを期待しています。各々夏の生活から「集団の雰囲気や共に頑張る仲間がいることの大切さ」「『職に就く』ための体力やコミュニケーション能力、率先して動く力の必要性」などを実感したようです。今、感じていること・学んでいることはすべてこれからの皆さんの素地になっていきます。

① SNSにご用心！！ ② 言葉や態度にご用心！！ ③ 集団の雰囲気を大切に！！

学年集会で話した上記3つの注意点を念頭に、残り半年自分を鍛えあげましょう。

平成30年度DV防止教室

7月23日(月)に1学年の生徒107名を対象としたDV防止教室がおこなわれました。

講師にはNPO法人DV防止ながさきから悦晴美先生にお越しいただき、講話に熱心に耳を傾ける生徒達の姿が見られました。近年のDVは、結婚した夫婦間で起こるものだけではなく、交際中の男女間で起こるデートDVも増加していることや、殴る、蹴るなどの身体的な暴力以外にも、一方的なお金の貸し借りや、メールやLINEのチェック、過度な束縛などもDVに該当するという話を聞き、生徒達も認識を新たにしました。また、講話の中で、「夫婦間で、夫からの身体的暴力を受けたことのある女性がおよそ20%いる」という話がありました。今回の講話を受けて、「対等な関係をつくる」ことの大切さを学んでくれた生徒達が、DVの被害者にも加害者にもならないことを願っています。



第65回生学習合宿

8月1日から8月7日に、長崎県立上五島海洋青少年の家において学習合宿を実施しました。快適な学習室、美味しい食事など整った学習環境で、思う存分学習に取り組み、今後の学習習慣につなげることができた有意義な6泊7日でした。進路実現へ向けて、より一層の取り組みを期待しています。



平成30年度高大連携出張講義

7月27日(金)に本校1年生普通科、2年1・2組の生徒を対象に2回目の「高大連携出張講義」が本校会場にて行われました。

第2回となった今回は3大学4学部の先生方を本校へお招きし、講義をしていただきました。どの講義も専門性が高く、大学の研究内容の一部を垣間見ることができた90分でした。どの講師の先生方も、高校までの学習内容が大学での研究において数多く必要になることを話され、今をしっかりと頑張るようにと激励までいただきました。この行事を通して学んだことを、少しでも自らの進路選択に生かして欲しいと思います。お忙しい中ご来校いただいた先生方、ありがとうございました。



魚目小サマースクール

8月16日から2日間、上高生が魚目小学校サマースクールにサポーターとして参加しました。

小学生に勉強を教えたり、休み時間に一緒に遊んだりして、交流を深めました。この経験を通して、教えることの大変さを実感するとともに、学ぶ姿勢について改めて考える機会になりました。



平成30年度平和教育

8月9日に平和教育を行ないました。各クラスで第2次世界大戦の学習を振り返り、平和についての学習を行いました。

また、各クラス代表生徒による平和宣言や放送部生徒による「証言2001 ヒロシマ・ナガサキの声 姉妹車掌12歳の妹の最後」と「瞳の中の子どもたち」の2つの朗読、そして11時2分に黙祷を行ないました。熱中症対策のため、今年度は体育館ではなく教室での実施となりましたが、生徒それぞれがしっかりと平和について考えることができました。



■ 各種大会結果

第63回長崎県吹奏楽コンクール **銀賞**

平成30年度佐世保地区高等学校新人陸上競技大会

男子5000m 1位 瀬戸幸晟くん 男子3000m障害 1位 瀬戸幸晟くん
男子三段跳 1位 石田兼三くん

女子総合 3位

女子ハンマー投げ 1位 川野夏波さん 女子円盤投げ 3位 川野夏波さん
女子800m 3位 宇戸希実さん 女子やり投げ 3位 古川しずくさん
女子走幅跳 3位 小浦未来さん

■ 9月の行事予定

2日(日) 体育祭	14日(金) あご焼き講習会	24日(月) 振替休日
3日(月) 振替休日(9月2日分)	15日(土) ③対外模試(~16日)	27日(木) 中間考査(~2日)
4日(火) ③就職試験激励会	17日(月) 敬老の日	
8日(土) ③土曜学習会	20日(木) 考査時間割発表	
県立大オープンキャンパス	人生の達人セミナー	
10日(月) こころのアンケート	23日(日) 秋分の日	

